

《担当者名》山田桃子 yamada-m@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

この授業では、日本の近現代の文学について、複数のテーマから取り上げ、考えていく。「文学」は、その時代の歴史・文化・社会・技術などと密接に関わりながら書かれ、読まれてきた。そのため、文学について考える切り口は、作家や文学思潮といった切り口にとどまらず、無数にありえる。

授業では、そうした多角的な視点から文学について考えられるようになること、またそこから日本文学という領域や作品と関わる歴史・文化・社会・技術についても理解を深めることを目指す。

【学修目標】

一般目標

幅広い教養を身に付け、多角的な物の見方を養うために、日本の近現代の文学や、それと関わる歴史・文化・社会について様々な視点から学ぶ。

行動目標

1. 作家や文学思潮といった視点にとどまらない多角的な視点から、文学領域や作品について説明、解釈できる。
2. 日本の近現代の文学やそれと関わる歴史・文化・社会について理解を深め、説明することができる。また、それを今この自身に繋がる問題としても捉えて考えを進め、自分の考えを説明することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	授業の概要や学修目標について説明できる。	山田桃子
2	メディア技術は文学とどう関係するか1	作家の顔写真をめぐる歴史とその問題について、ポイントを説明できる。	山田桃子
3	メディア技術は文学とどう関係するか2	映像文化の影響を受けた戦前の実験的な文学について、ポイントを説明できる。	山田桃子
4	メディア技術は文学とどう関係するか3	文学作品の映像化をめぐる歴史について、ポイントを説明できる。	山田桃子
5	働くことはどう描かれてきたか1	プロレタリア文学をめぐる歴史について、ポイントを説明できる。	山田桃子
6	働くことはどう描かれてきたか2	授業で取り上げる、労働をめぐる昭和期の小説とその背景について、ポイントを説明できる。	山田桃子
7	働くことはどう描かれてきたか3	授業で取り上げる、労働をめぐる現代の小説とその背景について、ポイントを説明できる。	山田桃子
8	中間まとめ / 小課題	前半の講義を振り返り、小課題を提出する。	山田桃子
9	「日本文学」とは何を指すのか	「日本文学」というカテゴリーをめぐる歴史・政治的問題について、ポイントを説明できる。	山田桃子
10	戦時中にはどんな詩が読まれ / 聞かれたか	戦時下の詩とその背景について、ポイントを説明できる。	山田桃子
11	戦時中にはどんな小説が書かれたか	授業で取り上げる、戦中が舞台となっている小説とその背景について、ポイントを説明できる。	山田桃子
12	病はどう描かれてきたか1	授業で取り上げる、病をめぐる明治期の小説とその背景について、ポイントを説明できる。	山田桃子
13	病はどう描かれてきたか2	授業で取り上げる、病をめぐる昭和期の小説とその背景について、ポイントを説明できる。	山田桃子
14	障害はどう描かれてきたか	授業で取り上げる、障害をめぐる小説とその背景について、ポイントを説明できる。	山田桃子
15	まとめ	講義のまとめについて、ポイントを説明できる。	山田桃子

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

授業内で実施する課題40%、試験60%であわせて評価する。

【教科書】

教科書は使用しない。授業資料を配布する（作品資料も配布する）。

【参考書】

授業内で随時紹介する。

【備考】

課題や授業の感想の提出にmanabaを利用する。

【学修の準備】

予習：予告されたテーマ（キーワード）やその時代について、事前の下調べをする。（80分）

復習：毎回の授業内容について、資料で復習を行う。また、課題を行う。（80分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP1）生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養、豊かな人間性、高い倫理観と優れたコミュニケーション能力を身につけている。